

福山工場竣工について

当社は、福山北産業団地に金属素形材の中核生産拠点として建築中の「福山工場」が竣工の運びとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

【福山工場建設の主旨】

福山工場は、北川鉄工所としては1981年の「本山工場」以来、27年ぶりの新工場建設となります。

昨年3月に福山市土地開発公社から75,144㎡の土地を購入。同年5月から建設に着手していた第1期工事がこのたび竣工し、4月1日から本格的に生産を開始いたします。

この第1期工場の工場は、建築延床面積：7,726㎡、従業員数：30人、生産品目ならびに生産量：自動車関連部品等、月産700トンを目指しており、自動車部品の受注拡大に対応するために建設いたしました。

コンセプトは「粉塵と騒音を抑えた良好な作業環境の実現」、「省人化設備の積極的な導入による収益力強化と品質の安定化」。

工場内には製品処理用ロボット、大型集塵機など最新鋭の設備を導入し、粉塵や騒音などを極力抑え、人にやさしい環境としています。また、ラインは自動化を取り入れ、省人化を進めるとともに24時間フル稼働とします。

また、最終的には約10年をかけ、鋳造設備7ライン、機械加工設備などを整える予定で、工場の全建築延床面積は20,000㎡。月産5,000トンを目指しています。

(次ページに「福山工場第一期工事概要・完成外観」を添付しています。)

福山工場 第一期工事 概要



■ 建設地	広島県福山市駅家町 福山北産業団地	■ 生産品	自動車関連部品 他
■ 敷地総面積	75,144㎡	■ 生産能力	月産700トン
■ 工場延床面積	7,726㎡	■ 主要設備	
■ 稼動開始	2008年4月1日	溶解	中周波誘導炉 5ton 3基
■ 従業員数	30名	造型	SM-60V縦型無枠造型機 1基
			枠寸法600mm×500mm

福山工場 第一期工事 完成外観

